
4062. 出港前報告一覽照会

業務コード	内容
I ML	出港前報告一覽照会

1. 業務概要

「出港前報告（AMR）」業務または「出港前報告訂正（CMR）」業務（以下、「AMR業務等」という。）、「出港前報告（ハウスB/L）（AHR）」業務または「出港前報告訂正（ハウスB/L）（CHR）」業務（以下、「AHR業務等」という。）で登録した情報に基づき、本船利用船会社単位（共同運航の場合は、各本船利用船会社の自社単位）またはマスターB/L^{*1}単位に出港前報告情報の船舶情報^{*2}、B/L等の情報を一覧照会する。

また、船積港毎の出港日時の報告状況の照会も本業務で行う。

照会区分	照会名称	概要
A	概要情報照会	オーシャン（マスター）B/L及びハウスB/Lを一覧で照会する。
B	不一致情報照会	AMR業務等、AHR業務等または「出港日時報告（ATD）」業務の出港前報告情報不一致判定（報告期限超過判定、ハウスB/L未登録判定、マスターB/L未登録判定、船舶情報不一致判定）において、不一致となったB/Lを一覧で照会する。
C	リスク分析結果事前通知情報照会	「出港前報告事前通知（CDN01）」業務によりB/Lにリスク分析結果の事前通知 ^{*3} が登録されているB/Lを一覧で照会する。
D	出港日時報告状況一覧照会	船積港毎の出港日時報告状況を一覧で照会する。
E	概要情報照会（ハウスB/L）	AHR業務等で登録したハウスB/LをマスターB/L単位の照会する。
F	不一致情報照会（ハウスB/L）	ATD業務の不一致判定（報告期限超過判定）において、不一致となったハウスB/LをマスターB/L単位の照会する。
G	リスク分析結果事前通知情報照会（ハウスB/L）	CDN01業務によりB/Lにリスク分析結果の事前通知が登録されているハウスB/LをマスターB/L単位の照会する。

（*1）B/Lの種類は以下のとおりとする。

①「オーシャン（マスター）B/L」

AMR業務等で登録されるB/L。

②「ハウスB/L」

AHR業務等でハウスB/Lとして登録されるB/L。

③「マスターB/L」

オーシャン（マスター）B/Lのうち、ハウスB/Lと関連付けされているB/L、またはマスターB/L識別に「M」を入力したB/L。

（*2）船舶情報とは、以下の7項目を指す。

①船舶コード

②航海番号

③船会社コード

④船積港コード

⑤船積港枝番

⑥船卸港コード

⑦船卸港枝番

(*3) リスク分析結果の事前通知とは、以下の4つを指す。

①HLD

②DNL

③DNU

④SPD

2. 入力者

税関、船会社、船舶代理店、NVOCC

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②船舶代理店の場合で、船卸港の入力がある場合は、入力された船卸港において本船利用船会社との受委託関係がシステムに登録されていること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 出港前報告情報DBチェック

入力された照会区分が「D」以外の場合は、照会対象B/Lが1件以上存在すること。

(4) 出港前報告管理DBチェック

入力された照会区分が「D」の場合は、入力された船舶情報*2に対してAMR業務等またはAHR業務等による出港前報告が行われていること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合に処理結果コード「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、「00000-0000-0000」以外の処理結果コードを設定の上、出力情報出力処理を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 照会対象B/L抽出処理

~~以下の条件に該当するB/Lを抽出する。~~

~~(A) 照会区分「A」~~

~~(a) オーシャン(マスター) B/L番号の抽出~~

~~入力された船舶情報*2とシステムに登録されている船舶情報*2が同一のオーシャン(マスター) B/L番号である。~~

~~(b) ハウスB/L番号の抽出~~

~~5.(2)(A)(a)にて抽出されたマスターB/L番号に関連付けされたハウスB/L番号である。~~

~~(B) 照会区分「B」~~

~~(a) オーシャン(マスター) B/L 番号の抽出~~

~~以下のいずれかの条件を満たすオーシャン(マスター) B/L 番号を抽出する。~~

~~(ア) 出港前報告情報不一致の旨が登録されているオーシャン(マスター) B/L 番号である場合~~

~~①入力された船舶情報*²とシステムに登録されている船舶情報*²が同一のオーシャン(マスター) B/L 番号である。~~

~~②AMR業務等、AHR業務等またはATD業務により、出港前報告情報不一致の旨が登録されている。~~

~~(イ) 関連付けされたハウスB/L 番号に出港前報告情報不一致の旨が登録されているマスターB/L 番号である場合~~

~~①入力された船舶情報*²とシステムに登録されている船舶情報*²が同一のマスターB/L 番号である。~~

~~②ATD業務またはCHR業務により、出港前報告情報不一致の旨が登録されているハウスB/L 番号と関連付けされている。~~

~~(b) ハウスB/L 番号の抽出~~

~~①5. (2) (B) (a) にて抽出されたマスターB/L 番号に関連付けされたハウスB/L 番号である。~~

~~②ATD業務またはCHR業務により、出港前報告情報不一致の旨が登録されている。~~

~~(C) 照会区分「C」~~

~~(a) オーシャン(マスター) B/L 番号の抽出~~

~~以下のいずれかの条件を満たすオーシャン(マスター) B/L 番号を抽出する。~~

~~(ア) リスク分析結果の事前通知が登録されているオーシャン(マスター) B/L 番号である場合~~

~~①入力された船舶情報*²とシステムに登録されている船舶情報*²が同一のオーシャン(マスター) B/L 番号である。~~

~~②リスク分析結果の事前通知が登録されている。~~

~~(イ) 関連付けされたハウスB/L 番号にリスク分析結果の事前通知が登録されているマスターB/L 番号である場合~~

~~①入力された船舶情報*²とシステムに登録されている船舶情報*²が同一のマスターB/L 番号である。~~

~~②リスク分析結果の事前通知が登録されているハウスB/L 番号と関連付けされている。~~

~~(b) ハウスB/L 番号の抽出~~

~~①5. (2) (C) (a) にて抽出されたマスターB/L 番号に関連付けされたハウスB/L 番号である。~~

~~②リスク分析結果の事前通知が登録されている。~~

以下の条件に合致するB/L を出港前報告情報DBより抽出する。

(A) 照会区分「A」

(a) オーシャン(マスター) B/L 番号の抽出

入力された船舶情報*²と登録されている船舶情報*²が同一のオーシャン(マスター) B/L を抽出する。

なお、入力者が船会社、船舶代理店(船卸港の入力がない場合)、NVOCCの場合は、上記に加えて、以下の条件に合致するB/Lのみを抽出する。

(ア) 入力者が船会社の場合

以下のいずれかを満たすオーシャン(マスター) B/L を抽出する。

①入力者の船会社コードと登録されている船会社コードが同一。

②入力者の利用者コードと登録されている通知先コードが同一。

(イ) 入力者が船舶代理店（船卸港の入力がない場合）の場合

①入力者の利用者コードと出港前報告者が同一。

②入力者の利用者コードと登録されている通知先コードが同一。

(ウ) 入力者がNVOCCの場合

下記（b）の条件に合致するハウスB/Lに関連付けられているマスターB/Lを抽出する。

(b) ハウスB/L番号の抽出

上記（a）で抽出したマスターB/Lに関連付けられているハウスB/Lを抽出する。

なお、入力者がNVOCCの場合は、以下の条件に合致するハウスB/Lのみを抽出する。

①入力者の利用者コードと出港前報告者が同一。

②入力者の利用者コードと登録されている通知先コードが同一。

(B) 照会区分「B」

(a) オーシャン（マスター）B/L番号の抽出

照会区分「A」におけるオーシャン（マスター）B/L番号の抽出条件に加えて、以下のいずれかの条件を満たすオーシャン（マスター）B/Lのみを抽出する。

①出港前報告情報不一致の旨が登録されているオーシャン（マスター）B/L。

②出港前報告情報不一致の旨が登録されているハウスB/Lに関連付けられているマスターB/L。

(b) ハウスB/L番号の抽出

照会区分「A」におけるハウスB/L番号の抽出条件に加えて、出港前報告情報不一致の旨が登録されているハウスB/Lのみを抽出する。

(C) 照会区分「C」

(a) オーシャン（マスター）B/L番号の抽出

照会区分「A」におけるオーシャン（マスター）B/L番号の抽出条件に加えて、以下のいずれかの条件を満たすオーシャン（マスター）B/Lのみを抽出する。

①リスク分析結果の事前通知が登録されているオーシャン（マスター）B/L。

②リスク分析結果の事前通知が登録されているハウスB/Lに関連付けられているマスターB/L。

(b) ハウスB/L番号の抽出

照会区分「A」におけるハウスB/L番号の抽出条件に加えて、リスク分析結果の事前通知が登録されているハウスB/Lのみを抽出する。

(D) 照会区分「E」

入力されたマスターB/L番号に関連付けされたハウスB/L番号である。

(E) 照会区分「F」

①入力されたマスターB/L番号に関連付けされたハウスB/L番号である。

②ATD業務により、出港前報告情報不一致の旨が登録されている。

(F) 照会区分「G」

①入力されたマスターB/L番号に関連付けされたハウスB/L番号である。

②リスク分析結果の事前通知が登録されている。

(3) 照会対象船積港抽出処理

照会区分が「D」の場合は、入力された船舶情報*²に該当する船積港を抽出する。

(4) 出港前報告一覧照会情報編集出力処理

抽出したB/Lに対する出港前報告情報DB、または入力された船舶情報*²に対する出港前報告管理DBより出港前報告一覧照会情報（概要情報）等の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(5) 注意喚起メッセージ出力処理

照会区分が「A」、「B」または「C」の場合で、かつ出力された情報の他に照会対象となる情報が存在する場合は、注意喚起メッセージとして出港前報告一覧照会情報に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
出港前報告一覧照会情報	以下のいずれかの条件を満たすとき、出力する (1) 照会区分が「A」、「B」、「C」の場合 (2) エラーとなった	入力者
出港日時報告状況一覧情報	照会区分が「D」の場合	入力者
出港前報告（ハウスB／L）一覧照会情報	照会区分が「E」、「F」、「G」の場合	入力者

7. 特記事項

(1) 抽出対象となるB／Lについて

照会区分「A」、「B」及び「C」で抽出されるハウスB／Lについては、「入力された船舶情報*²とシステムに登録されている船舶情報*²が同一のハウスB／L」ではない。

そのため、船舶情報不一致となった場合は、「ハウスB／Lに登録されている船舶情報*²」ではなく、「マスターB／Lに登録されている船舶情報*²」にて照会する必要があるため、注意すること。

(2) ソート条件

(A) 照会区分「A」、「B」または「C」

B／L番号を以下の順でソートして出力する*⁴。

オーシャン（マスター） B／L① オーシャン（マスター） B／L①配下のハウスB／L① オーシャン（マスター） B／L①配下のハウスB／L② オーシャン（マスター） B／L①配下のハウスB／L③ オーシャン（マスター） B／L② オーシャン（マスター） B／L②配下のハウスB／L① オーシャン（マスター） B／L②配下のハウスB／L② オーシャン（マスター） B／L②配下のハウスB／L③ オーシャン（マスター） B／L③

(* 4) オーシャン（マスター） B／L番号でソート（昇順）して出力する。

ただし、オーシャン（マスター） B／L配下にハウスB／Lが存在する場合は、オーシャン（マスター） B／L番号を出力した直後に、配下のハウスB／L番号を出力（ハウスB／L番号でソート（昇順））する。

(B) 照会区分「D」

船積港コードでソート（昇順）して出力する。

(C) 照会区分「E」、「F」または「G」

B／L番号でソート（昇順）して出力する。